

# 「おもてなし経営」50社公表

## オートセンターモリなど選出

経済産業省

経済産業省は26日、「おもてなし経営企業選」の選出企業50社を公表した。第1回となる企業選には、37業種・業態、146社が応募。この中から自動車関連では自動車販売整備業を営むオートセンターモリ（森淳次社長、三重県伊賀市）や武蔵境自動車教習所（高橋明希社長、東京都武蔵野市）、保険代理店のトゥ

モロイ（阪井善和社長、広島県呉市）が選出された。2013年度も引き続きこの活動を継続する方針だ。

「おもてなし経営企業選は、各地域で高付加価値経営を実践する企業を称賛し、それらの経営をモデルに経営改革の促進や地域経済を活性化するのが目的。1回目となる企業選は、昨年9月から11月末ま

で募集し、応募のあった146社に対して書類選考、経営者ヒアリング、現地調査を行い50社を選出した。

「おもてなし経営」とは、「従業員の意欲と能力を最大限に引き出す」「地域・社会との関わりを大切に」「サービスの高付加価値化や差別化を実現する」の三つをポイントとする。評価の際に

は過去3年の経営状況のほか、「経営理念が社員と共有できているか」「人材育成の仕組みが整備されているか」「従業員や客へのサービスが整っているか」「地域社会と共生しているか」を基準とした。

今回選出されたオートセンターモリの場合は「毎月の個人面談による社員育成と意欲向上」「多能工化による業務効率の改善と部門間連携の強化」「イベントで顧客の要望を聞き、改善結果も半年後の同イベントで顧客に報告」がおもてなし経営のポイントとなった。